

## 編集 後記

論壇では「社会疫学」を解説いただきました。わが国の中で長い間定着していた「公衆衛生」という言葉が看板から消えてしまっていますが社会疫学への関心の深まりは公衆衛生復権の兆候かもしれません。社会疫学のルーツは西欧の公衆衛生史の中から生まれてきたもののように思われます。1980年出された英国保健社会省の報告書 (Black D, et al 1980) は大きな衝撃を与えたことは有名なことであります。保健医療制度改革だけでは健康格差が解消されず、健康格差には様々な社会要因が関与していることを明らかに示したものだからであります。この衝撃が米国に伝播して学問として体系づけられたのが社会疫学ではないかと私は思っています。この健康格差の問題は現在は研究課題としてだけでなく、わが国の健康日本21の中には位置づけられるにはいたっていませんが、米国の Healthy People 2000, 英国の Our Healthier Nation の両国の健康戦略の中に大きな柱として位置づけられています。わが国においても公衆衛生研究や保健行政の戦略の中に位置づけていくこと必要と考えられます。

ところで、本誌掲載の原著論文はいずれも高齢者に関わる貴重なものでした。高齢者の身体活動量、生命予後、主観的健康観などと社会的要因との間に関連性があることを示すものであります。今年度から地域包括支援センターが設けられ、介護予防活動に取り組まれています。管らの論文は健診非受診者の中に介護予防が必要な高リスク者が含まれていることを示すものであり、今後の介護予防事業のやり方に示唆を与えるものであり

### 10号予告 (第53巻・第10号)

#### 総説

大腸がんの予防と魚・n-3系多価不飽和脂肪酸  
実験的研究と疫学研究の結果からの総説

.....木村安美

#### 原著

地域における過体重・肥満者を対象とした運動施設利用、栄養指導による個別健康教育と介入効果の検討

筑西市 (旧協和町) 国保ヘルスアップモデル事業.....野田博之, 他

全国の市区町村保健師における「連携」の実態に関する研究.....筒井孝子, 他

#### 資料

特定疾患治療研究対象疾患と国際疾病分類 (ICD-10, 9, 8) に基づく死因コードの対応

.....土井由利子, 他

事業所の定期健康診断問診票におけるメンタルヘルス質問項目の分析.....河原田まり子, 他

感染症発生動向調査に基づく2002~2004年の罹患率推計値.....橋本修二, 他

ます。また、「地域保健・医療」研修に関する調査論文は研修医と受け入れ保健所との認識を示すもので興味深いものであります。これからも公衆衛生の現場の実態に根ざした示唆に富む報告の投稿をお願いいたします。  
(高鳥毛敏雄)

### 第12回 (2007年度) 『日本女性科学者の会奨励賞』候補者募集

趣 旨：女性科学者の友好を深め、各研究分野の知識の交換をはかり、女性科学者の地位の向上を目指す。

対 象：自然科学分野の研究実績があり、その将来性を期待できる者で、かつ本会の目的に賛同し、その達成のために努力していると認められる本会員 (応募時入会可)。特に年齢、国籍、性は問いませんが、管理職 (教授、部長等) にある方はご遠慮下さい。

奨 励 賞：賞状および奨励金20万円 (年1-3件)。本会総会 (例年6月) において贈呈。

応募書類請求期間：2006年10月2日 (月)~10月31日 (火) \*必ずハガキでご請求下さい。

応 募 期 間：2006年11月1日 (水)~11月15日 (水) 必着

決 定 時 期：2007年3月末 (郵便にて本人宛通知)

応募書類請求先/送付先：〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科・生命環境科学系・身体運動科学

日本女性科学者の会賞連絡事務局 濱中すみ子 理事宛

FAX 03-5454-4317

E-mail: hamanaka@idaten.c.u-tokyo.ac.jp